

各位

コモンズ投信株式会社
代表取締役社長 伊井哲朗
東京都千代田区平河町 2-4-5

**「責任ある機関投資家」の諸原則 《日本版ステュワードシップ・コード》
～投資と対話を通じて企業の持続的成長を促すために～
の受入れ表明について**

コモンズ投信株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:伊井哲朗、以下「コモンズ投信」)は、平成26年2月27日に策定された「責任ある機関投資家」の諸原則 《日本版ステュワードシップ・コード》 ～投資と対話を通じて企業の持続的成長を促すために～の趣旨に賛同し、同コードを受け入れることを表明いたします。なお、同コードに対するコモンズらしい取り組み方針については、9月までに公表する予定です。下記に、コモンズ投信の創業時よりの考え方をご参考までに掲載いたします。

記

1.コモンズ投信の創業時より変わらない考え

コモンズ投信は、創業時より長期的な視点で銘柄を厳選したうえで、対話を重視してファンドの運営に取り組んでまいりました。当時、日本ではまだあまり例のない長期集中投資のファンド『コモンズ30ファンド』を運用し、しかも、運用会社でありながら直接販売を主体とするビジネスモデルは、まさに、対話による企業の価値創造とその結果として豊かな社会づくりへの貢献を目指したものです。投資先の企業との対話は勿論、受益者と投資先企業との対話にも積極的に取り組んで参りました。今後も、こうした取り組みにつきましては、さらに強化してまいります。

*コモンズ30ファンドの運用哲学(ホームページより)

【対話】

真の長期投資の安定株主であるからこそ可能になる対話を通じ、経営者との信頼を築き、企業価値の創造に参加します。コモンズ投信は、投資先の企業へ一方的に「モノ申す」スタイルはとりません。あくまでも、敬意を示した創造的な対話に務めます。

企業の価値を創る主役はファンドではなく、経営者や従業員、そして、その企業の商品やサービスを評価し、購入する最終消費者です。消費者と個人投資家という同一人物の視点は企業経営にとって極めて重要です。

コモンズ投信は、販売会社のために単に投資信託を作る「工場」ではなく、顔が見えて、直接皆さまとの接点を大切にサービス会社へと育ちます。真の長期投資とは育むことです。財産を育むことはもちろん、持続性ある豊かな人生を育むために多くの気づきの Common Ground「共有地」を一緒につくっていきます。

以上

